

赤十字ボランティア・地域の方々と協働したふれあいまつり



# 赤十字はみなさまとともに



ぼうさいこくたいへの参加



救命を学ぶ子どもたち



新潟県支部救護班による能登半島地震での医療活動



赤十字ボランティアの炊き出し訓練

人間のいのちと健康、尊厳を守るため  
**赤十字活動資金にご協力をお願いします。**



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

新潟県支部

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町1-3-12

TEL **025-231-3121**

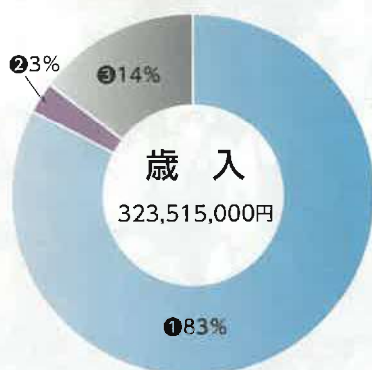
日赤新潟





# 令和8年度は、下記の事業を計画しております。(令和8年度予算)

## 【一般事業】



## 歳入

- 1 県民のみなさま(個人・法人等)からのご寄付 268,200,000円
- 2 雑収入(講習会受講者からの受講料等) 8,849,000円
- 3 前年度からの繰越金(当該年度当初の事業運営費) 46,466,000円

## 歳出

- 1 国内外の支援活動等に 39,105,000円
- 2 災害時の救護活動・救護看護師の養成に 37,021,000円
- 3 防災・減災啓発の拡充・いのちを守る技術の普及 9,571,000円
- 4 交通安全帽の配布、赤十字ボランティアの養成・育成、子どもたちへの防災教育等に 22,005,000円
- 5 市区町村での地域に根差した防災・減災等の活動に 37,880,000円
- 6 赤十字活動を県民のみなさまにご理解いただくための広報活動に 59,577,000円
- 7 救護活動の拠点となる社屋の維持管理費に 3,402,000円
- 8 災害時即座に対応するための支部運営業務に 114,954,000円



## みなさまのご寄付で、被災者にお届けする物資が整備できます

2,000円で

毛布1枚



避難所での生活に必要な「毛布」を1人分備えることができます。

5,000円で

緊急セット



ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが収納された「緊急セット」を1セット(4人分)備えることができます。

## 活動資金へのご協力方法



自治会・町内会等で協力する



銀行振込等で協力する



(一例)クレジットカードから協力する

その他の方法で協力する



## 災害時に救護活動の拠点となる社屋へ見学にお越しください！(無料、大型駐車場有)

### 実施事例

- ◎ 小・中学校のキャリア教育や校外学習、総合的な学習の時間
- ◎ 自主・防災組織の研修会や訓練、PTA行事、自治・町内会の研修会
- ◎ 赤十字奉仕団・青少年赤十字加盟校の研修会 など

### 施設見学・研修会プログラム

- 1 見学+自分を守ろう防災コース (60分～90分)
- 2 見学+赤十字って何だろうコース (60分～90分)
- 3 見学+町内での助け合いを学ぼうコース (60分～120分)
- 4 見学のみ(20分～30分)



### プログラム内容

- ◎ 新聞など使った防災グッズ作りやグループワーク
- ◎ 災害救護倉庫や救護車両などの見学
- ◎ 災害の備えと非常用持ち出し品の具体例(講話)
- ◎ 日本赤十字社のお仕事、災害救護活動の体験談(講話) 他

申込はこちら▼



※赤十字活動資金への寄付は税制上の優遇措置や表彰をお受けいただくことができます

税制優遇について

表彰制度について



## 活動資金等にご協力いただいたみなさまの個人情報の取り扱いについて

寄付などの協力に際して取得する個人情報は、日本赤十字社の広報活動や事業資金などの募集のためにのみ使用します。個人情報の取り扱いの詳細については日本赤十字社Webサイトをご確認ください。



▲詳しくはこちらから